



子どもや高齢者の豊かな生活を支援し、
ご家族をサポートします

どんな仕事？

子どもや高齢者に寄り添い、生活をサポートします

2017(平成29)年3月に福島市の認可を受けた社会福祉法人で、子どもや高齢者を対象とした施設の運営を通して、地域に貢献することを目指しています。当法人は、子どもや高齢者の皆さまが、豊かで充実した人生を送ることができるよう、確固たる信念を持って、社会福祉における専門的役割を果たしています。さらに、介護を必要とする高齢者や小さい子どもをもつご家族の皆さまの悩みを一緒に考え、お手伝いすることで、その生活をサポートできるよう日々取り組んでいます。



代表メッセージ

問題解決に積極的に取り組む人材を求めています



法人本部 業務執行理事
たかはし せいいち
高橋 精一さん

「人にやさしい人権尊重」を基本理念とし、「子どもからお年寄りまで安心安全に暮らせる施設づくり」「地域社会に貢献できる施設づくり」「安心安全に、かつ生きがいをもって働ける職場づくり」を基本目標に掲げています。今の時代に合わせ改革・改善に力を入れており、問題解決に率先して取り組む意欲的な人材を求めています。

事業内容

- 介護老人福祉施設事業(特別養護老人ホーム)
- 軽費老人ホーム事業(ケアハウス)
- 通所介護事業(デイサービスセンター)
- 地域包括支援事業(地域包括支援センター)
- 指定居宅介護支援事業(居宅介護支援事業所)
- 訪問介護事業(ヘルパーステーション)
- 保育事業(保育所) ●放課後児童健全育成事業(学童)
- 地域子育て拠点支援事業(子育て支援センター)



企業DATA



社会福祉法人さくら福祉会

法人本部/〒960-1107 福島市上鳥渡字樋ノ口北52
TEL:024-593-0505
FAX:024-573-0073
従業員数 181名(男34名・女147名)
休暇日数 年間115日



就活豆知識

話し言葉の“口語”と書き言葉の“文語”を使い分けましょう。(例)一般企業…口語「御社」、文語「貴社」

先輩のメッセージ

特別養護老人ホームあづまの郷
介護職員
あべりく
阿部 陸さん
(勤続1年目)

より良い支援を目指し、
勉強を重ねています



利用者さまの「食べられる喜び」を支えたい!

特別養護老人ホームあづまの郷
管理栄養士
かしわばら もえり
柏原 萌里さん
(勤続3年目)



利用者さまの笑顔のため家族のように寄り添い続ける

亡くなった祖父にもっと何かしてあげたかったの思いから介護福祉の仕事を目指しました。高校卒業後は専門学校で介護福祉士や社会福祉主事などの資格を取得し、昨年から当法人で働いています。



仕事は利用者さまの日常生活のお手伝いが主です。個々の状況を見極めながら介助するのは難しいですが、利用者さまの笑顔が励みになっています。今後はケアマネジャーの資格を取得し、より多くのサポートができるようになりたいです。

1日のスケジュール



「食べることは生きること」。食べたい思いをかなえたい

私の仕事は利用者さまの食の栄養管理です。個々の利用者さまに必要な栄養を確認し、食事計画を作成したり、それに基づいて作られた献立の確認を行ったりします。また、食事の介助も大事な仕事で、そこで見聞きしたことを他のスタッフと共有し、食が進むように働きかけます。利用者さまとの関わりが多いので、その反応が直接受け取れることがやりがいです。皆さんの食の希望をかなえられるよう頑張りたいと思っています。



1日のスケジュール



働きやすい取り組み

資格取得支援サポート制度

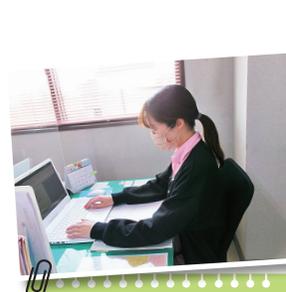
専門能力の向上のため、業務に必要な資格取得について、受験費用を会社で全額もしくは一部を負担しています。会社指定の資格を取得すると、昇給につながりモチベーションが上がります。

多職種連携

それぞれの専門職がスキルを生かし、かつ多職種間で連携することで、利用者に質の高いサービスを提供しています。また、そのことが達成感、充実感を感じられるやりがいのある職場づくりにつながっています。

ICT化の取り組み

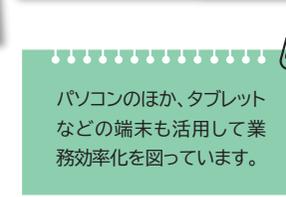
職員の能力に合わせながらICT化を進めています。ICT機器を取り入れることで、時間の効率化を図り、利用者向きあえる時間をより多く確保することを目指しています。



隙間時間を上手に活用して資格取得を目指す職員もいます。



カンファレンスでは、さまざまな専門性をもつスタッフが情報交換をしたり、問題に対して話し合ったりします。



パソコンのほか、タブレットなどの端末も活用して業務効率化を図っています。

子育て世代インタビュー

復帰時に仕事を頑張ることが周囲の理解への恩返しに

副施設長として、施設の管理運営を行いながら、3人の子どもを育てています。3人とも産休・育休制度を利用し、復帰後は時短勤務を行いました。当施設は女性はもちろん、男性職員も育休を取得するなど、子育てに対する理解が進んでおり、子どもの体調不良のため急な休みがあっても、復帰した時に頑張れば良いという意識が浸透しています。私自身、仕事と家庭のバランスを取りながら今後も長く働いていきたいと思っています。

特別養護老人ホームあづまの郷
副施設長
いたばし ともこ
板橋 知子さん
(勤続7年目)

